



平成 23 年 5 月 12 日

各位

上場会社名 太平洋興発株式会社
代表者 代表取締役社長 佐藤 幹介
(コード番号 8835)
問合せ先責任者 経理部長 上原 與章
(TEL 03-5830-1602)

平成 23 年 3 月期通期業績予想値と実績値との差異及び繰延税金資産の計上に関するお知らせ

平成 23 年 3 月 3 日に公表しました平成 23 年 3 月期通期業績予想数値と本日公表の決算において実績値に差異が生じたのでお知らせするとともに、繰延税金資産の計上を行うことになりましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期 通期業績予想値と実績値の差異 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想数値と決算における実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	29,000	650	900	30	0.44
今回実績 (B)	27,410	671	911	321	4.74
増減額 (B-A)	△1,589	21	11	291	
増減率 (%)	△5.5	3.3	1.3	972.3	
(参考) 前期連結実績 (平成 22 年 3 月期)	26,088	792	1,309	606	8.96

(2) 個別業績予想数値と決算における実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	19,000	250	400	△170	△2.51
今回実績 (B)	17,155	217	368	84	1.25
増減額 (B-A)	△1,844	△32	△31	254	
増減率 (%)	△9.7	△12.8	△7.8	—	
(参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	16,407	251	716	304	4.49

2. 差異及び計上の理由

売上高につきましては、個別の商事事業である輸入炭販売数量が減少したことを主因に、連結及び個別とも予想を下回りました。

営業利益、経常利益につきましては、個別が輸入炭販売数量の減少等により下回ったものの、連結ベースにおいては、連結子会社の業績が堅調だったことにより予想を上回りました。

また、当社は繰延税金資産について、「繰延税金資産の回収可能性の判断に関する監査上の取扱い」（日本公認会計士協会監査委員会報告第66号）に基づき相当程度慎重な判断により回収可能額の見積りを行ってまいりましたが、今般、今後の業績見通しを踏まえ再度慎重に検討した結果、繰延税金資産の回収可能性が高まったため、繰延税金資産を予想数値より213百万円多く計上することが可能と判断いたしました。その影響により、当期純利益は連結及び個別とも大きく予想を上回ることとなりました。

以 上